

マネージ[®]乳剤

■種類名：イミベンコナゾール乳剤
■有効成分：イミベンコナゾール----- 5.0%
■化管法指定物質：ホリ(林江ルソ)=アルキルフェニル(アルキル基の炭素数が9のものに限る。)[第1種]----- 2.7%

■登録番号：第18686号
■毒性：普通物(毒劇物に該当しないものを指している通称)
■登録初年：1994.04.08
■性状：淡黄色澄明可乳化油状液体
■有効年限：4年
■包装：500ml×20本
■危険物：第二石油類危険等級III、火気厳禁

【特長】

- 北興化学工業が開発した、うどんこ病などの主要病害に効果のあるDMI剤。
- 乳剤のため作物のよごれが少ない。
- 主にばら、きくなどの花き、芝に適用がある。

【適用内容】(2024年11月末日現在)

作物名	適用病害名	希釈倍数(倍)	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イミベンコナゾールを含む農薬の総使用回数
芝 (日本芝)	さび病	1000~1500	0.2ℓ/m ²	発病初期	6回以内	散布	6回以内
	ヘルミントスポリウム葉枯病 カーブラリア葉枯病	1000					
芝 (ハンクグラス)	ダラースポット病	500	0.2~0.5ℓ/m ²				
		1000	1ℓ/m ²				
ばら	黒星病、うどんこ病	500~	0.2~0.3ℓ/m ²				
きく	白さび病、黒さび病	1000					
コスモス	白斑病	1000	0.2~0.7ℓ/m ²				
樹木類 (まさき、さるすべり、 じんちょうげ、ポプラ、ぼけ、やなぎ、 せいようきんしばいを除く)	うどんこ病						
まさき さるすべり							
じんちょうげ	黒点病、うどんこ病						
ポプラ	マルゾニナ落葉病 うどんこ病						
ぼけ	褐斑病、赤星病、うどんこ病						
やなぎ	葉さび病、うどんこ病						
せいようきんしばい	さび病、うどんこ病						

【効果・薬害等の注意】

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきることを。
- 散布量は対象作物の生育段階、栽培形態及び散布方法に合わせ調節すること。
- 本剤は自動車に散布液がかかると変色するおそれがあるので、散布液がかからないように注意すること。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用すること。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

【安全使用上の注意】

- ❖ 誤飲などのないよう注意すること。
- ❖ 本剤は眼に対して刺激性があるので、散布液調製時には保護眼鏡を着用して薬剤が眼に入らないよう注意すること。
眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けること。
- ❖ 本剤は皮膚に対して刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意すること。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とすこと。
- ❖ 散布の際は農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用すること。
作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするともに衣服を交換すること。
- ❖ 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯すること。
- ❖ かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意すること。
- ❖ 街路、公園等で使用する場合は、散布中及び散布後(少なくとも散布当日)に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払うこと。
- ❖ 本剤は危険物第4類第2石油類に属するので、火気には十分注意すること。
- ❖ 保管：火気をさけ、直射日光の当たらない低温な場所に密栓して保管すること。